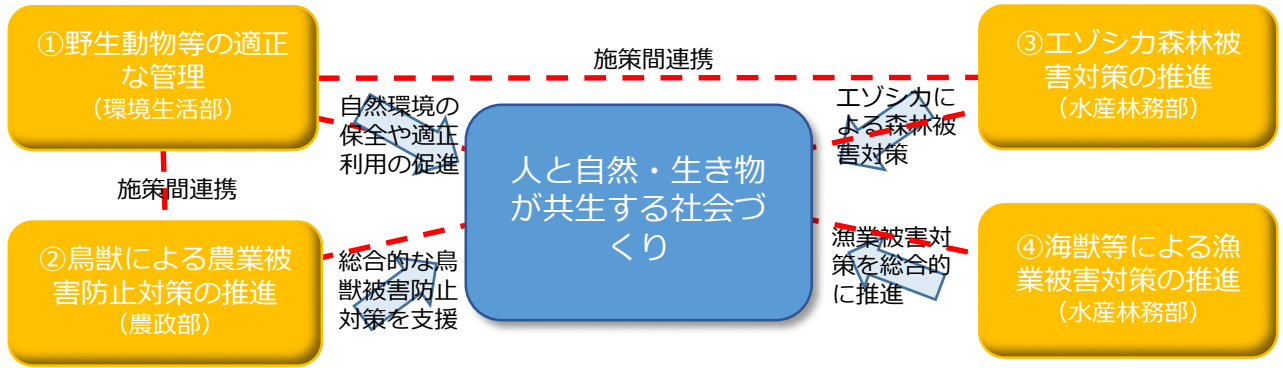


1 分野：生活・安心
 (3) 政策の柱：豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承
B 政策の方向性：人と自然・生き物が共生する社会づくり

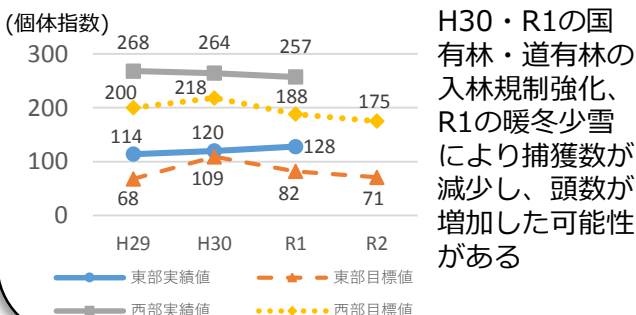
【政策の方向性と施策の関係】



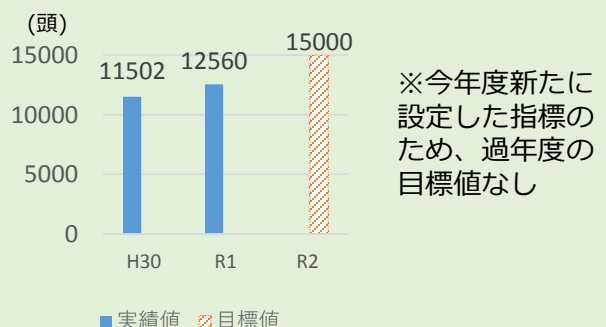
施策名	課題等	主な取組 《》内はコロナの影響	総合評価
①野生動物等の適正な管理 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣や外来種の分布拡大は農林水産業への被害や、本道の生物多様性の保全にも悪影響 適正な個体数管理や外来種の防除などの取組を推進する必要 	<ul style="list-style-type: none"> 希少野生動植物種保護の取組 ICT技術の活用とエゾシカ活用の推進 ヒグマ対策技術者育成の捕獲事業を実施 動物愛護の普及啓発及び適正飼養の推進《研修会、シンポジウムの延期等》 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②鳥獣による農業被害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣による農林水産業被害、生活被害が甚大 農業被害は、平成23年度をピークに漸減傾向だが、被害の発生が全道的に広がっている状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域が行う捕獲活動や農用地への侵入防止柵の整備、エゾシカの有効活用などの取組を総合的に支援 関係機関と連携した広域的な捕獲体制の構築や、捕獲環境の整備 	効果的な取組を検討し引き続き推進
③エゾシカ森林被害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業への被害や人身事故の発生などが大きな脅威 適正な生息水準の早期実現に向けた対策が必要 国有林・民有林等の関係機関が森林被害対策を一体的に実施することが重要 	<ul style="list-style-type: none"> 被害防除対策や捕獲対策への支援 市町村等による捕獲が困難な鳥獣保護区等におけるエゾシカ捕獲事業を実施 「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じて技術向上研修等を実施 関係機関と連携した林道除雪や管理型捕獲（モバイルカリング）を実施 	効果的な取組を検討し引き続き推進
④海獣等による漁業被害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 来遊する海獣類により深刻な漁業被害が発生しており、漁業被害防止対策を総合的に推進する必要 外来魚が在来種の資源量や生態系に与える影響が懸念 	<ul style="list-style-type: none"> 駆除や強化網導入等被害防止対策を実施 経験の浅い漁業者ハンター等に対して技能向上のための実践研修を実施 各種会議等を通じ漁業被害防止対策に係る情報共有を推進 外来魚の駆除・調査・拡散防止等の指導 	概ね順調に展開

【総合計画の指標】

エゾシカ個体数指数（東部地域、西部地域）
 （施策①②③）



認証施設の食肉処理頭数（施策①）



【ほか1つの関連指標】

(※) はコロナの影響等があった施策

【施策の詳細については、評価調書をご覧ください】

<総合計画施策推進状況>